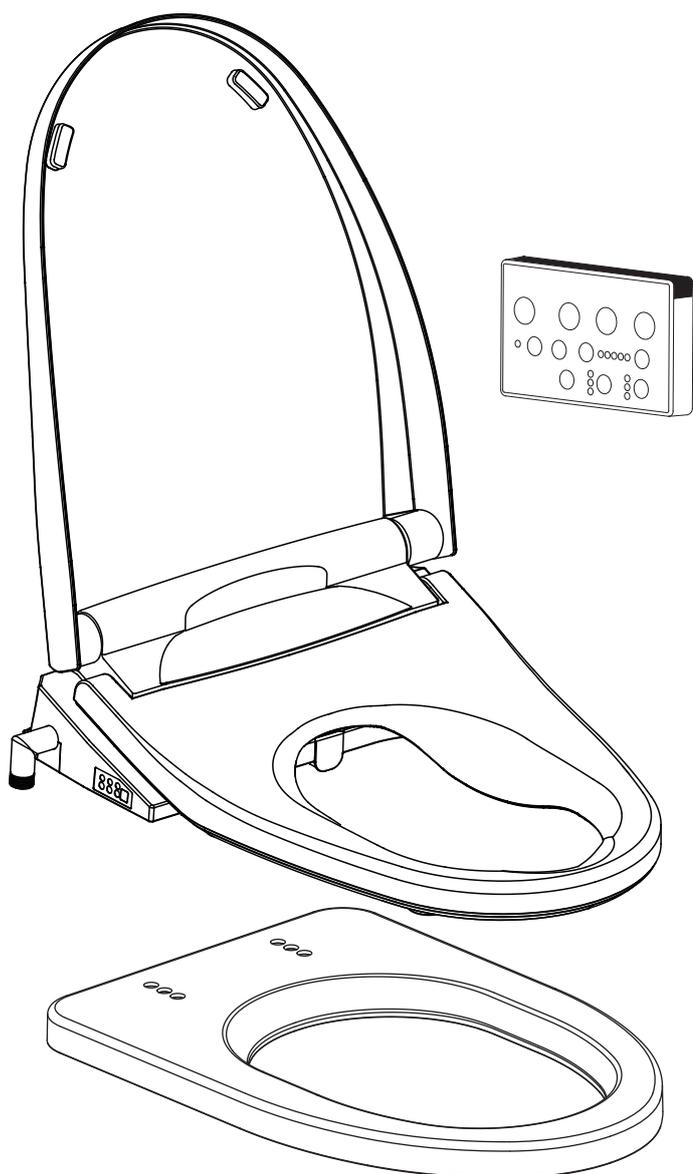


取扱説明書 (保証書付)

温水洗浄便座



品番：STK-B200W



もくじ

	ページ	
安全上のご注意	1~3	必ず守る
取り付け前の確認	4	設置方法
取り付け手順(設置工事)	5~8	
ご使用前の確認	9	
特長	10	使用方法
各部の名前と働き	11~12	
使いかた	13~14	
節電機能	15	
脱臭機能/ロック設定機能	16	
凍結防止について	17~18	
知っておいていただきたいこと	19~20	
お手入れ	21~24	その他
仕様	25	
故障かな?と思ったら	26~27	
点検のお願い	28	
アフターサービスについて	29	
保証書	裏表紙	

- 補高便座分の高さが必要な場合に設置しご利用ください。
- この取扱説明書(保証書付)をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。

さつき株式会社

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。その表示と意味は次のようになっています。

この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

 警告 ：人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容
 注意 ：人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容

本文中の絵表示の意味です。

 は、してはいけません [禁止] の内容です。	 一般的禁止	 水場での使用禁止	 水ぬれ禁止
	 ぬれ手禁止	 分解禁止	 火気禁止
 は、必ず実行していただく [強制] の内容です。	 必ず行う	 アース線接続	 電源プラグを抜く

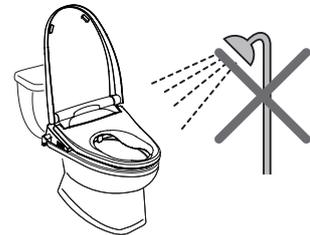
警告

 **アースを確実に取り付ける**
アース工事を行っているか確認してください。故障や漏電の時に感電するおそれがあります。アースの取り付けは、必ずお買い求めの取扱店・販売店、または電気工事店に相談してください。

アース線接続

 **浴室・シャワー室など湿気の多い場所に設置しない**
火災や感電の原因になります。

水場での使用禁止



 **故障したままで使い続けない**
次のような時は、電源プラグを抜き、止水栓を開めて給水を止めてください。

禁止

故障とは…

- ・配管や本体から水漏れしている
- ・異音、異臭がしている
- ・製品が異常に熱い
- ・製品にひびや割れが入っている
- ・製品から煙が出ている

故障したまま使い続けると、火災や感電、室内浸水の原因になります。すぐに使用を中止し、お買い求めの取扱店・販売店、またはお客様サービスセンターに連絡してください。

 **低温やけどに注意する**
比較的低い温度でも長い時間皮膚の同じ場所に触れていると低温やけどのおそれがあります。

必ず行う

次のような方はご注意ください!

お子様、お年寄り、ご病気の方、自分で温度調節のできない方、皮膚の感覚の弱い方、眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方や深酒、疲労の激しい方。

※万が一、低温やけどをされたときは、ただちに専門医の診断を受けてください。

 **化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けておられる方は、ご使用に際し医師に相談する**
身体への著しい障害をまねくおそれがあります。

必ず行う

安全上のご注意

警告



便座本体・電源プラグに汚水や水をかけない

水ぬれ
禁止

火災や感電の原因になります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手
禁止

感電やけがをすることがあります。



雷が発生しているときは、電源プラグに触れない

禁止

感電の原因になります。



電源プラグなどについてたほごりは定期的に取り除く

必ず行う

火災の原因になります。



分解や改造を絶対に行わない

分解禁止

火災や感電、けがの原因になります。
修理はお買い求めの取付店・販売店、またはお客様サービスセンターにご連絡ください。



車輜・船舶など、移動体への設置はしない

禁止

火災や感電、故障の原因になります。
温水洗浄便座本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。



電源コードが傷んでいたら使用しない

禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因になります。



電源は、交流100Vのコンセントを使用する

必ず行う

交流200V・船舶などの電源で使うと、火災や感電の原因になります。



コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

禁止

たこ足配線で定格を超えると、発熱や発火の原因になります。



電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む

必ず行う

感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。



水道水以外は使用しない

禁止

中水道や工業用水、井戸水は使用しないでください。
ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。
機械内部の腐食による感電や火災の原因になります。
異物が詰まって故障の原因になります。

注意



たばこなどの火気類を近づけない

火気禁止

火災の原因になります。



便器内を洗剤でお手入れするとき必ず行う

必ず行う

便器内の清掃にトイレ用洗剤、および消毒剤などを使用するときは、早め(3分以内)に洗い流した後、便座・便ふたは開けたままにしてください。また便器についた洗剤は確実に拭き取ってください。(トイレ用洗剤などの気化ガスが便座本体内に入り、故障の原因になります。)



便座本体には乗らない

禁止

破損や故障、けがの原因になります。



乾いた布やトイレットペーパーでこすらない

禁止

傷の原因になります。

必ず守る

安全上のご注意

⚠ 注意



禁止

薬品で拭いたり、かけたりしない

シンナー・ベンジン・トイレ用洗剤・住宅用洗剤・薬品・クレンザーおよびナイロンたわしなどで拭いたり、殺虫剤・芳香剤・消臭剤をかけたりしないでください。便座などがひび割れし、けがの原因になります。

また、身体がかぶれることがあります。

お手入れの方法は⇒21～24ページ



禁止

配管に力を加えたり、給水ホースを折り曲げたりしない

漏水の原因になります。



電源プラグを抜く

お手入れの時は電源プラグを抜く

感電や故障の原因になります。



禁止

便ふたに寄りかからない

便ふたに過剰な荷重を加えると、破損や故障、けがの原因になります。お子様が使用するとき、周りの人が注意してあげてください。



必ず行う

長期間使用しないときは、電源プラグを抜き、便座本体内部の水を抜く

水が腐敗して皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。

水抜きの方法は⇒17～18ページ



必ず行う

凍結による破損の予防を行うこと

本製品は寒冷地仕様ではありません。凍結すると給水配管や本体内部が破損して、漏水の原因になります。暖房するなどしてトイレ室内を暖めてください。

凍結による破損の予防は⇒17～18ページ



必ず行う

水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める

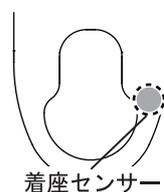
室内浸水の原因になります。



禁止

便座の左奥・右中央に触れたまま操作パネルスイッチを押さない

着座センサーが入り、ノズルから洗浄水が出て水をかぶったり、床を濡らすおそれがあります。



着座センサー



禁止

体重が100kgを超える方は使用しない

補高便座が破損し、けがをする原因になります。



禁止

本体やノズルに小便をかけない

故障の原因になります。



禁止

車いすから横移乗される方は使用しない

取付部がゆるんだり破損したりして、けがをする原因になります。



禁止

付属の温水洗浄便座(STK-B200W)以外に補高便座を取り付けない。

便器への固定ができず破損やケガの原因となります。



禁止

小さなお子様のいたずらなどに注意する

落下してけがをする原因になります。



必ず行う

補高便座や便座が上下左右にガタつく場合は、ベースプレートのねじを締め直す

それでもガタツキがなくなる場合は、取扱店・販売店・またはお客様サービスセンターにご相談ください。取付部がゆるんだり破損したりしてケガをする原因になります。



禁止

補高便座をつかんで引き起こさない

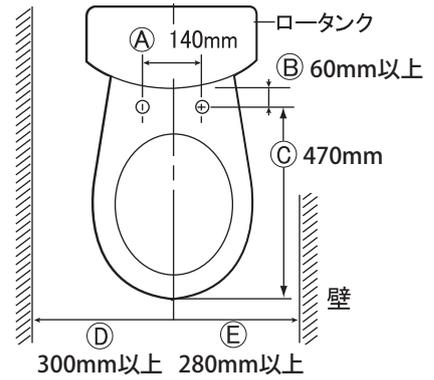
破損の原因になります。

取り付け前の確認

1 取り付け便器について

- ・取り付け便器の寸法を確認します。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ の必要寸法があるか、確認してください。



2 給水について

- ・使用水は必ず水道水(上水道)を使用してください。
中水道や工業用水、井戸水は使用できません。

使用可能水道圧範囲は、0.069 (流動時)～0.735MPa (静止時) (0.7～7.5kgf/cm²) です。
0.069MPa (0.7kgf/cm²) 以下の水圧では、水勢調節幅が狭くなったり、使用できない場合があります。

3 止水栓について

- ・止水栓が付いているか確認してください。
- ・止水栓が付いていない場合やフラッシュバルブ式の場合は、別途工事が必要となりますので、専門業者にご依頼ください。

4 アース端子について

- ・コンセントにアース端子が付いているか確認してください。
- ・アース端子がない場合は、電気工事店へご相談ください。
※アース線を取り付けないと、故障や漏電の際に感電するおそれがありますので、必ずアース線を取り付けてください。

設置方法

付属品

付属品

<p>取付ボルト 2本</p> <p>歯付ワッシャー 2個</p> <p>平パッキン 2個</p> <p>スリップワッシャー 2個</p> <p>ナット 2個</p>	<p>分岐金具セット</p> <p>分岐金具 1個</p> <p>パッキン 2個 (厚さ2mm)</p>	<p>給水ホース (100cm) 1本</p>	<p>ベースプレート 1個 (本体取付け)</p>
<p>単3形乾電池 2本</p> <p>木ねじ 2本</p>	<p>リモコン本体 1個</p>	<p>補高便座 1個</p>	<p>水跳ね防止パッキン 3本</p>

取り付け手順 (設置工事)



警告



禁止

電源プラグは、設置工事が完了するまでは、コンセントに差し込まない。
電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で便座本体を立てかけたり、裏返すと発煙・空焚き・水漏れの原因になります。

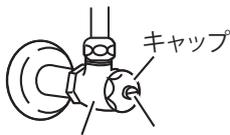
本製品は水道水を使用して検査をしております。

本製品を取り出す際にホースやノズルから多少水滴が出るがありますが、故障ではありません。

1 止水栓を閉める

止水栓がある場合

■ 止水栓がマイナス溝、ハンドルタイプの場合



止水栓 マイナス溝
マイナス溝タイプ

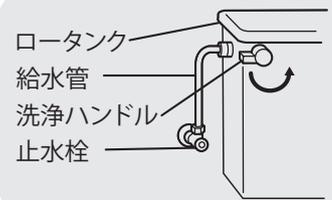


止水栓 ハンドル
ハンドルタイプ

■ 止水栓が内ネジタイプの場合



止水栓
本体の内側に
ねじが切っ
てあるタイプ



- ① 止水栓を閉めてください。
- ② ロータンクの洗浄ハンドルを回して、水が給水しないことを確認してください。

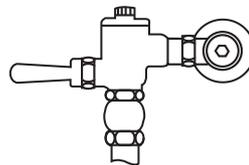
止水栓がない場合

設置については専門業者にご依頼してください。

■ 寒冷地用給水管 (止水栓なし)



■ フラッシュバルブ式



※寒冷地用給水管などの既設給水管に止水栓がない場合は、専用配管が必要になります。

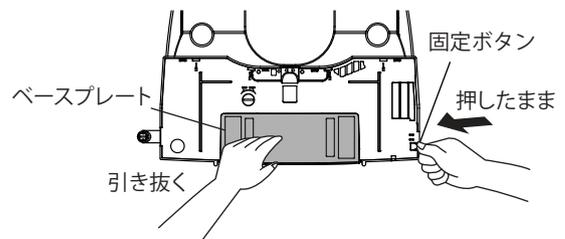
※フラッシュバルブ式の場合は、専用の接続アダプターが必要となりますので、専門業者にご依頼してください。

2 現在ご使用の便座を取り外す

- ① 便座を固定しているナットをモンキーレンチなどの工具を使って取り外します。
※ナットが緩まないときは、市販の潤滑スプレーなどをご使用ください。
- ② 便座を取り外します。

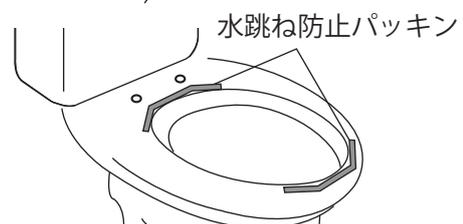
3 ベースプレートの取り外し

便座本体右にある固定ボタンを押したまま、ベースプレートを取り外します。



4 補高便座の取り付け

- ① 補高便座を取り付ける前に、右図のように便器前後に水跳ね防止パッキンを貼り付けます。
- ② 便器に補高便座を設置します。



取り付け手順 (設置工事)

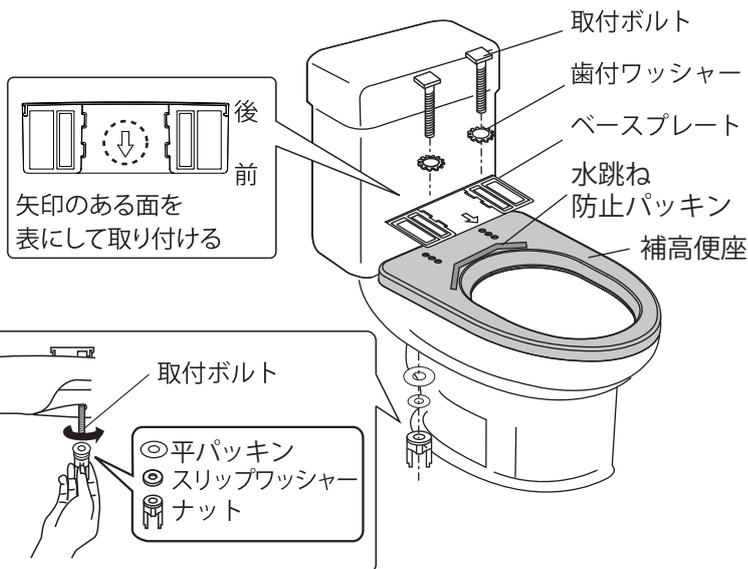
5 ベースプレートの取り付け

電源プラグは設置工事が完了するまでは、コンセントに差し込まないでください。故障するおそれがあります。

- ① 取付ボルトに歯付ワッシャーを通しベースプレートと便器及び補高便座の穴に合わせて差し込みます。

※歯付きワッシャーの上下に注意して下さい。

- ② 取付ボルトに平パッキン、スリップワッシャーを通し、ナットを取り付け仮締めします。
※本締めは、便座本体を取り付けてから行います。

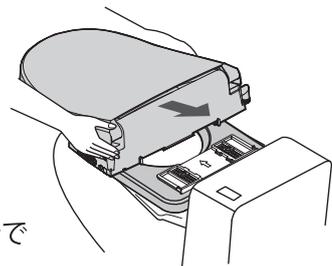


6 水跳ね防止パッキンの取り付け

- ① 水跳ね防止パッキンをハサミなどで適当な長さに調整します。
- ② 水跳ね防止パッキンを右図のように補高便座へ貼り付けます。

7 便座本体の取り付け

- ① 便座本体のくぼみとベースプレートの位置を合わせ、ベースプレートの奥まで確実に押し込みます。
※電源コードを便座本体と便器の間にはさみ込まないでください。
- ② ナットを手でしっかり締め付けた後、緩みがないよう、モンキーレンチなどで本締めを行います。
※工具による増し締めは、ボルトの破損防止のためナットを1回転した所で止めてください。
- ③ 便座本体を取り付け後、本体を軽く左右にふって固定されていることを確認してください。



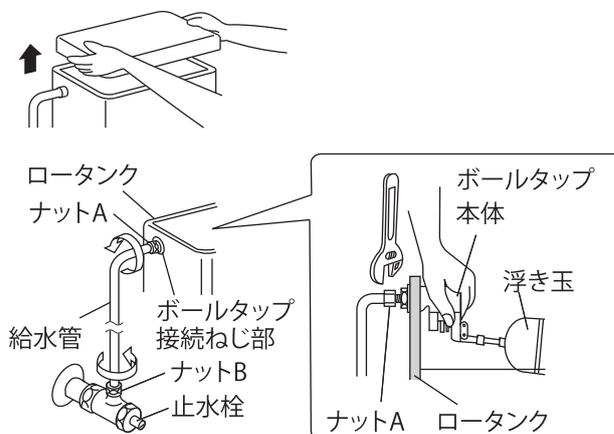
設置方法

お願い

長年お使いになると取付ボルトの締め付けが緩んでくる場合があります。その時はナットを増し締めしてください。

8 分岐金具・給水ホースの取り付け

- ① ロータンクのふたを外します。
- ② ナットA.Bを緩め給水管を取り外します。
※ボールタップ接続ねじ部を回さないようにボールタップ本体根元部をしっかり握ってください。
※ナットを緩めると給水管の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

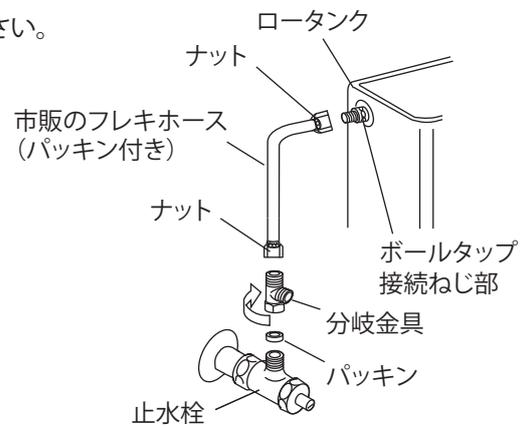


お願い

取り付けのときボールタップ接続ねじ部を回してしまうと浮き玉がタンクの内壁と干渉して、ロータンク内に水が入らなくなる場合があります。このようなときは元の位置にボールタップを戻してください。

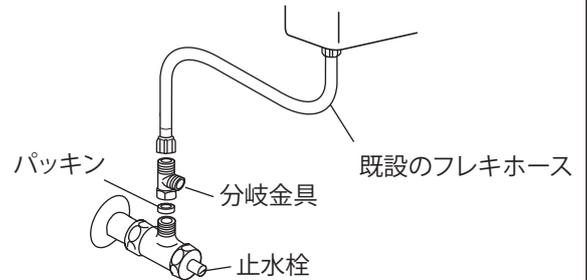
取り付け手順 (設置工事)

- ③ 止水栓に分岐金具を取り付けます。
付属のパッキンを1枚使用します。(2枚目のパッキンは予備用となります。)
- ④ 市販のフレキホース(パッキン付き)を取り付けてください。
※ホースナットの締め付けトルクの目安7.4N.m
※ホースナットを締めすぎると破損するおそれがあります。
※既設の給水管をご使用の場合は、水道工事店にご相談ください。

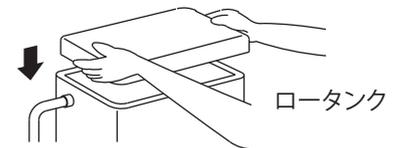


ロータンク下側からフレキホースが接続されている場合

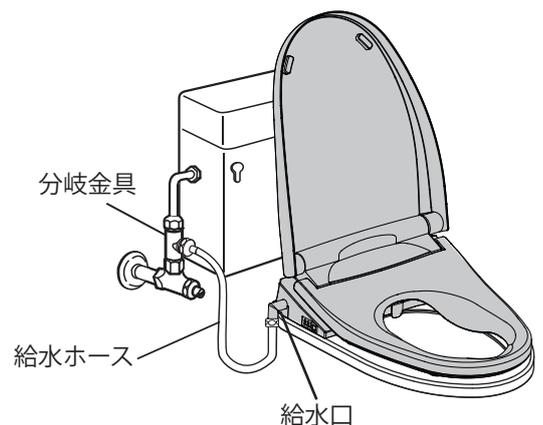
- ・ 止水栓から既設のフレキホースを外してください。
- ・ 止水栓に分岐金具を取り付けてください。
- ・ 分岐金具に既設のフレキホースを取り付けてください。



- ⑤ ロータンクのふたを元に戻してください。



- ⑥ 給水ホースを分岐金具に取り付けてください。
- ⑦ 給水ホースを給水口に取り付けてください。
※ホースナットの締め付けトルクの目安7.4N.m
※ホースナットを締めすぎると破損するおそれがあります。



9 アース線の接続



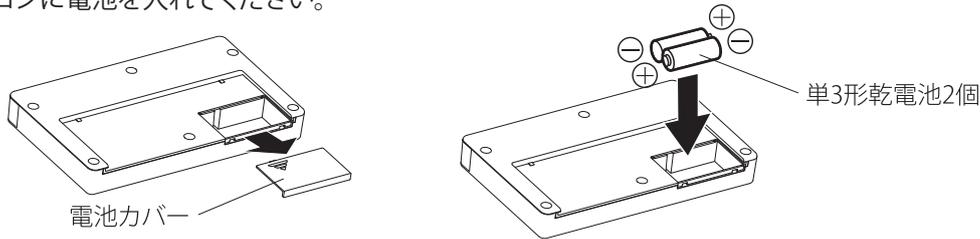
アース線
接続

- ・安全のためアース線は確実に取り付けてください。
アース線を取り付けないと、故障や漏電の際に感電するおそれがあります。
アース線を取り付けるまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
※アース線の取り付けは、必ずお買い求めの取扱店・販売店、または電気工事店に相談してください。

取り付け手順 (設置工事)

10 リモコンを取り付ける

- ① リモコンに電池を入れてください。



※電池寿命の目安は約1年です。

付属の電池は動作確認用のため、電池寿命が短い場合があります。

※充電タイプの乾電池は使用できなかったり、電池の使用期間が短くなります。

- ② リモコンの位置を決めてください。

※便座に着座した状態で確実に受信することを確認してください。

※リモコンから天井までの間に、棚などの障害物がない位置に取り付けてください。

※天井や床、壁が黒または濃色である場合は、リモコンから発せられる信号が受信しにくいことがあります。また、黒を基調としたもの(マットやカーテンなど)があるときも受信しにくいことがあります。

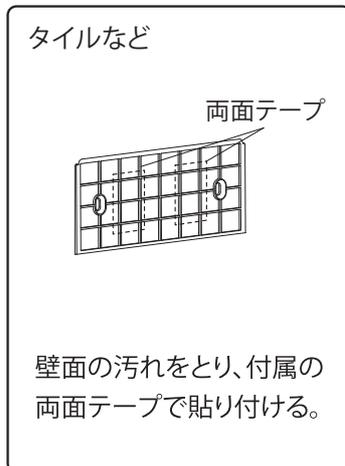
※本体の受信部が隠れないようにしてください。赤外線信号が受信しにくいことがあります。

※インバーター方式の照明下の場合、リモコンが誤作動を起こす場合があります。

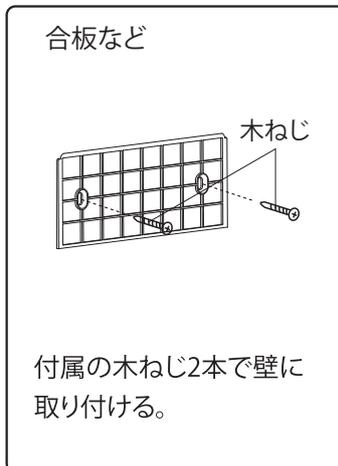
※天井までの仕切り壁のない連なっているトイレで2台以上設置の場合、リモコン操作したときに、他の本体が誤動作する場合があります。この場合、本体内部の設定の変更が必要となりますので、お買い求めの取扱店・販売店・またはお客様サービスセンターにお問い合わせください。

- ③ リモコンホルダーを壁に取り付けてください。

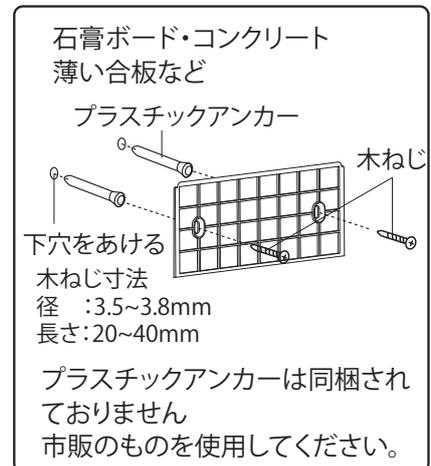
接着できる壁の場合



ねじ止めできる壁の場合



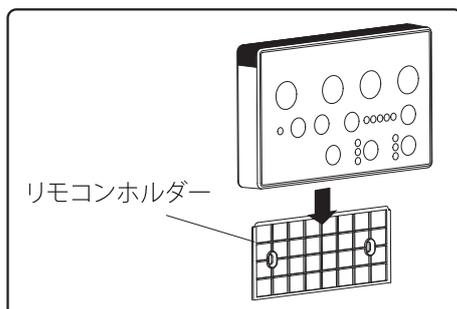
付属品でねじ止めできない壁の場合



※コンクリート壁の場合は市販のコンクリート用プラグなどで取り付けてください。

- ④ 取り付けたりモコンホルダーにリモコンを差し込んでください。

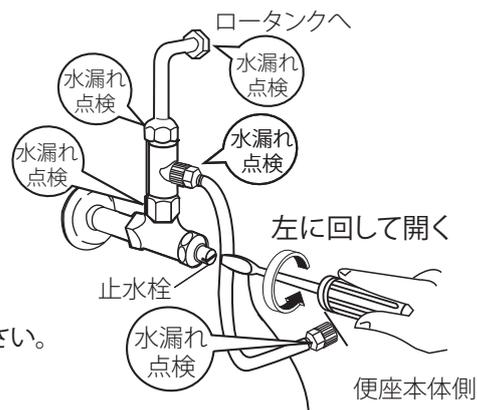
※リモコンホルダーの取り付け方向にご注意ください。



ご使用前の確認

水漏れの点検

- ① 給水の前に、配管接続部にゆるみがないか再確認してください。
- ② 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないか確認してください。
※止水栓を閉める前と同じ水量位置に戻して調整してください。
- ③ ロータンクの水を排出し、確実に給水されるか確認してください。
- ④ 給水管接続部、水抜栓部より水漏れがないことを確認してください。
※水漏れしている場合は止水栓を閉め、再施工して水漏れを止めてください。



電源の点検

- ① アース線をコンセントのアース端子に取り付けてください。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
※便座側面にある操作パネルの電源ランプの点灯を確認してください。

(11) ページ)

電源プラグをコンセントに差し込んだ直後は、約10秒間マイコンが初期設定を行います。電源ランプが点滅し、ボタン操作を受け付けません。電源ランプが点灯後に試運転を行ってください。

〈操作パネル〉



試運転

試運転の前に梱包用ビニール袋を補高便座と便座の間に挟んで、ノズルから洗浄水の吹き出す様子が確認できるようにしてください。

① 温水タンクへの給水

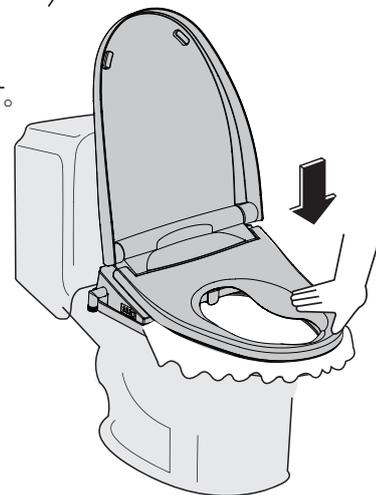
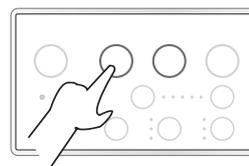
本体、またはリモコンの[おしりボタン]押すと温水タンクへ給水を始めます。給水中にブザー音が「ピッピッ」と鳴り、満水になると「ピー」と鳴り給水が止まります。
※温水タンクが満水にならないと洗浄機能が正常に動きません。

② 洗浄水の確認

便座表面の左奥または、右中央を手で触ります。(脱臭のファンが動作します。)
[おしりボタン]または[ビデボタン]を押して洗浄水が出ることを確認してください。
[止ボタン]を押すと洗浄水が止まります。(14) ページ)
各機能が正しく作動するかを確認します。

※洗浄前後、および洗浄停止中ノズル付近から水が落ちることがあります。
これは洗浄ノズル内の残水、または温水タンク内の水が沸き上がったときの膨張水によるもので、故障ではありません。

〈リモコン〉



凍結防止について

試運転後に凍結のおそれがある場合は、[温水温度調整ボタン]を押して温水温度の設定をし、節電機能の使用や、便座本体の電源を切らないでください。また設定後、使用開始するまでに期間があり、凍結のおそれがある場合は、「凍結防止について」(17~18) ページ)の項目に基づき水抜きをしてください。

便ふたカバー・便座カバーについて

- 便ふたカバーを取り付けて使用すると、便ふたが開いたとき、便ふたが静止しない場合があります。
- 便座に便座カバーを取り付けて使用すると、着座センサーが効かなくなる場合があります。

特長

節電機能付き

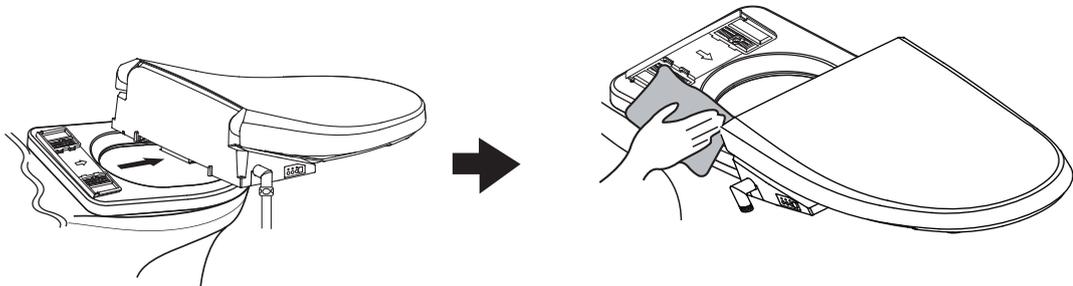
節電モードを使用すると電気代が節約できます。
節電機能について (15~16 ページ)

清潔・快適

温水シャワーの水勢を5段階に調整できます。
さらにリズム機能を併用して、強弱のリズミカルな洗浄水で洗浄することができます。
(14 ページ)

便ふた・便座本体着脱式

お掃除のときなど便ふたは便座本体から、便座本体は補高便座から取り外せます。
お手入れの方法は (21~22 ページ)



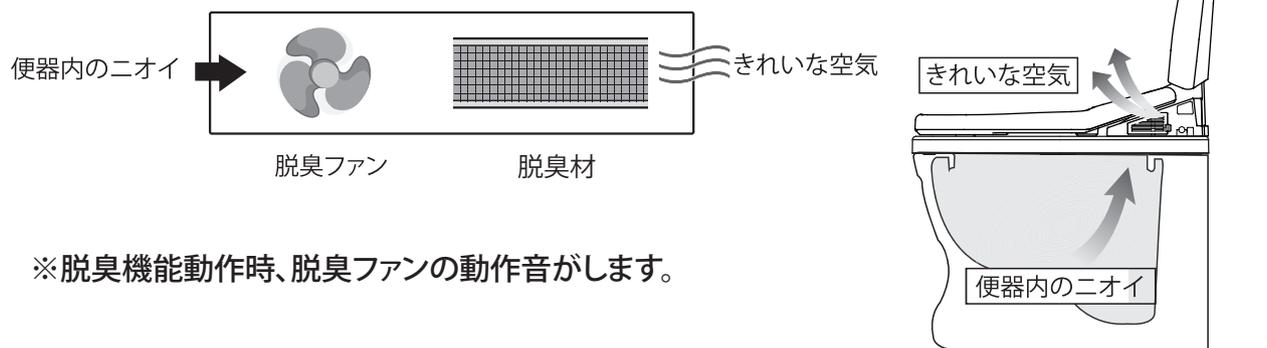
脱臭

- ・ニオイをパワフルに分解する触媒脱臭を採用しています。(16 ページ)
- ・着座すると脱臭が始まり、立ち上がった後約1分間、脱臭が続き、次の人にも配慮した脱臭機能です。

*触媒脱臭

- ・便と尿には硫化水素、メチルメルカプタン、アンモニアの三大臭気成分が入っております。
- ・脱臭材で三大臭気成分を吸着させ、触媒でニオイを分解し、きれいな空気を室内に送ります。

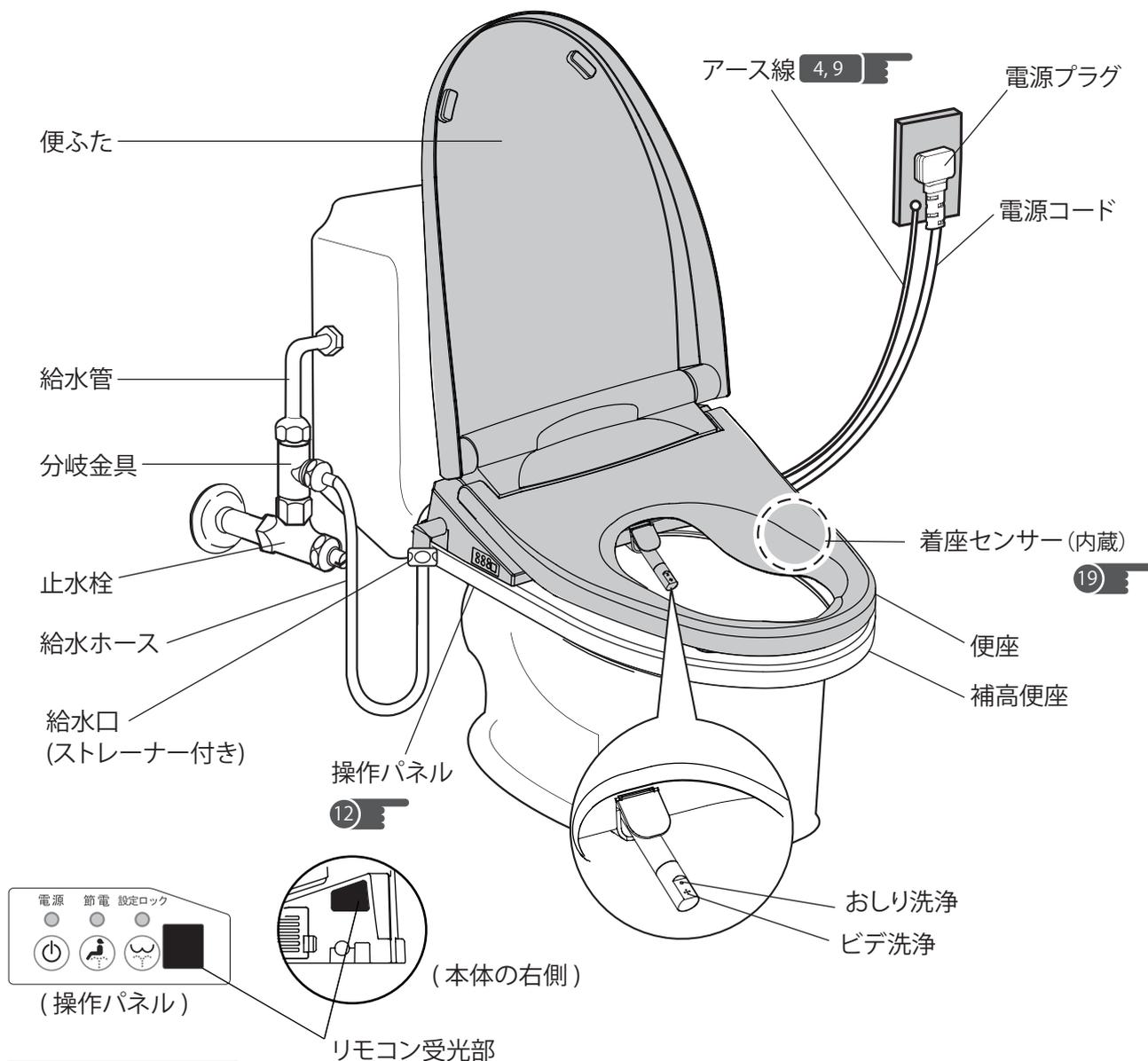
ニオイを吸引 → 触媒でニオイを分解 → 脱臭材でニオイを吸着



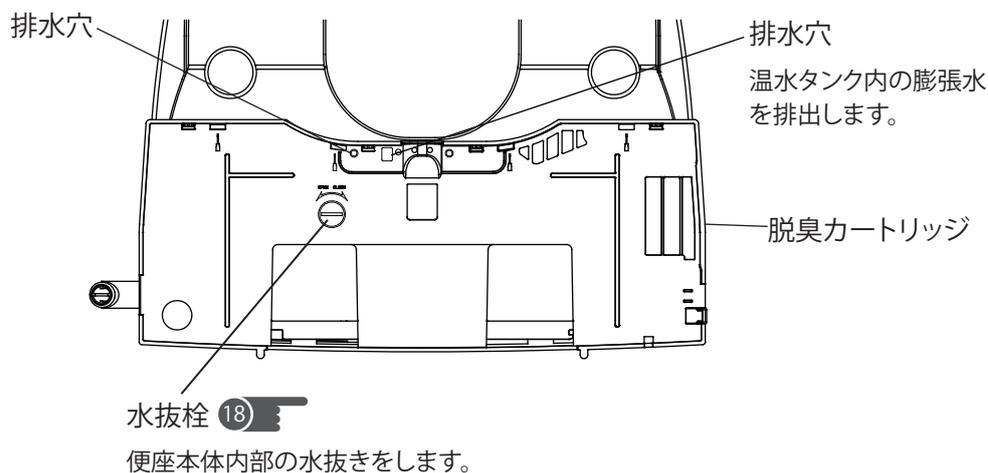
※脱臭機能動作時、脱臭ファンの動作音がします。

各部の名前と働き

本体

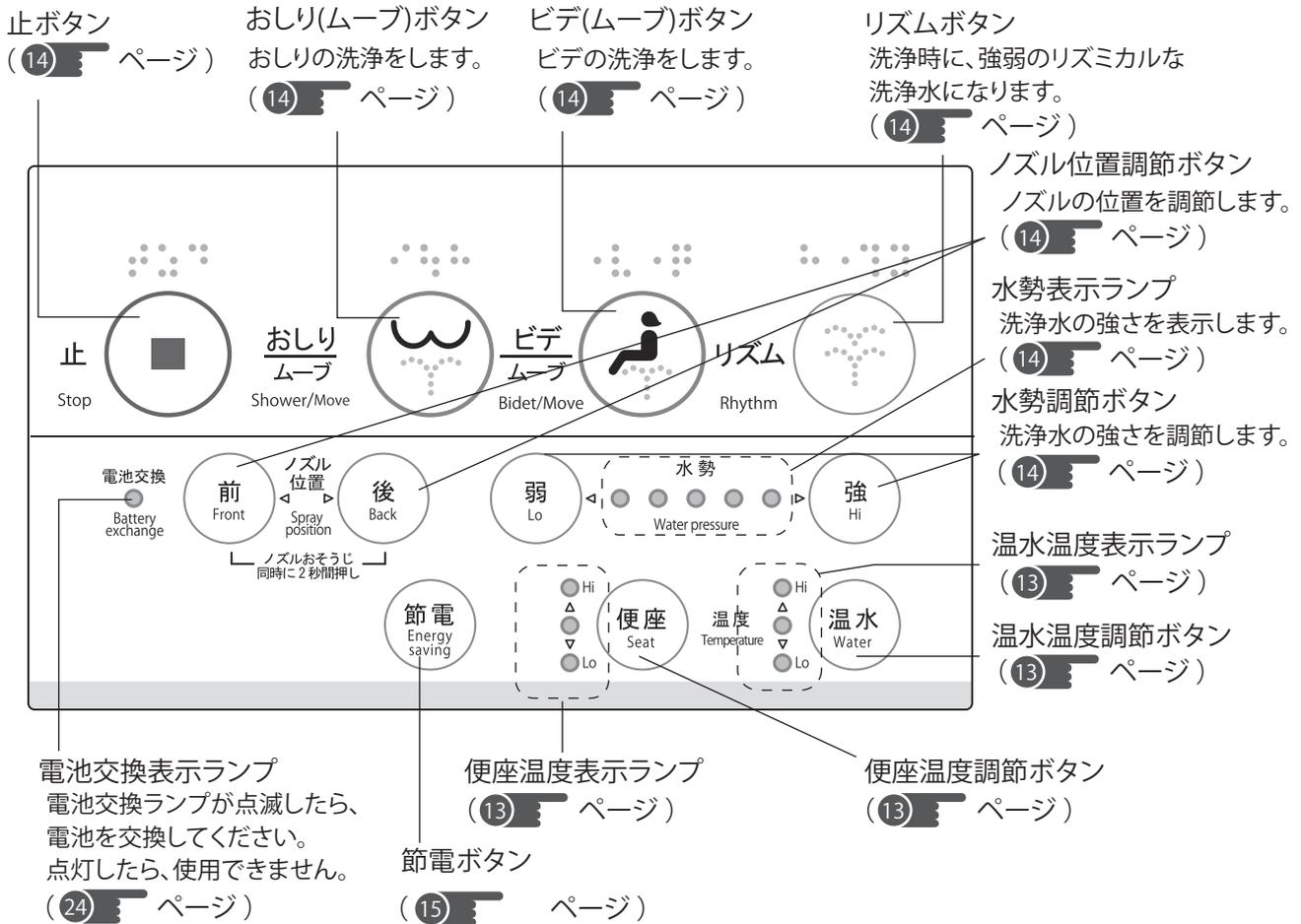


本体裏側

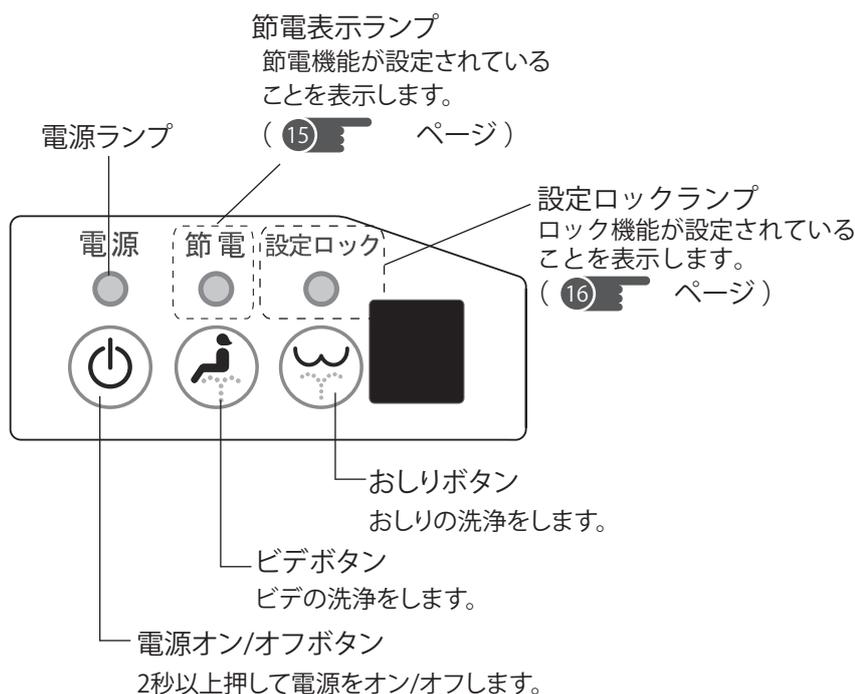


各部の名前と働き

リモコンパネル



操作パネル



使いかた

温水タンクへの給水 (ページ)

- ・製品を設置し、お使いになる前には温水タンクに給水してください。
[おしりボタン]を押すと温水タンクへ給水を始めます。
給水中にブザー音が「ピッピッ」と鳴り、満水になると「ピー」と鳴り給水が止まります。
※温水タンクに給水される前に[おしりボタン]または[ビデボタン]を押すと、ノズルが出るのが遅れたり、設定した温度の温水が出なかったりします。

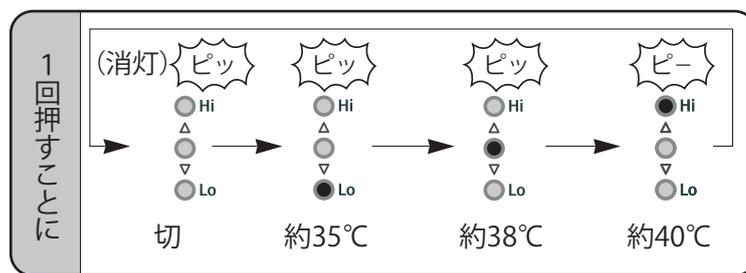
温水温度を設定する

設置後温水の温度は「切」になっています。
お好みの温度に設定してください。



を押して設定する

リモコンを押したとき、温水ランプが点灯していない場合はお湯が出ません。



・約5分後に設定した温度になります。(水温によって異なります。)

※1.周囲温度が20℃に満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。

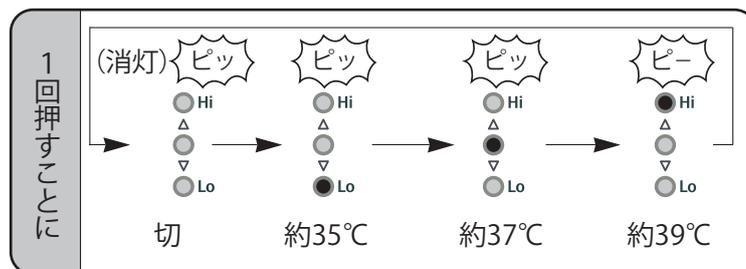
便座温度を設定する

設置後便座の温度は「切」になっています。
お好みの温度に設定してください。



を押して設定する。

リモコンを押したとき、便座ランプが点灯していない場合は便座は温まりません。



・約5分後に設定した温度になります。(室温によって異なります。)

※1.周囲温度が20℃に満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。

※2.便座上面を暖めることを目的としているため、側面や先端を触ると冷たく感じるがありますが、故障ではありません。

使いかた

おしり洗浄・ビデ洗浄をする

1 座る 便座の中央に座ります。
脱臭を開始します。

2 洗う おしり洗浄をする
・局部周辺に付着した汚物を洗い流す機能です。
長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。※1



ビデ洗浄をする
・局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。※1



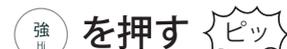
※1 常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
局所の治療・医療行為を受けている方は、使用について医師の指示を守ってください。

おしり洗浄・ビデ洗浄の時に

水勢を調節する

・洗浄開始時には、中間の強さで始まり洗浄中にボタンを押すと強さが調整できます。

強くするときには



弱くするときには



弱 ← → 強

・水勢表示ランプは点灯後、約20秒経過すると消灯します。



ノズル位置調節する

・洗浄開始時には、中間の位置で始まり洗浄中にボタンを押すと位置が調整できます。

前に移動



後に移動



ムーブ洗浄をする

・おしり(ビデ)洗浄中に、再度おしり(ビデ)を押します。
もう一度押すとムーブ洗浄が解除されます。

リズム洗浄をする

・おしり(ビデ)洗浄中にリズムボタンを押すと強弱のリズミカルな洗浄水で洗浄します。
もう一度押すとリズム洗浄が解除されます。



3 止める おしり(ビデ)洗浄が停止します。
※ 洗浄停止後、ノズル付近から水が落ちることがあります。
これはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。



節電機能

節電モードを使う

設置後、節電設定は「切」になっています。

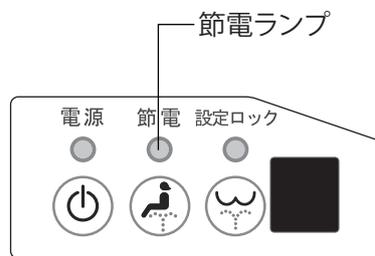
お出かけやおやすみの時など、長時間使用しない場合にお使いください。



を押して設定する。

○ランプ消灯 ●ランプ点灯

選 択	1回押すごとに設定切り替え	
	標準モード	節電モード
ランプ表示	節電 ○	節電 ●
便座温度	設定温度	便座の温度を 35℃に下げる※1
温水温度	設定温度	設定温度



※1.周囲温度が20℃に満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。

節電モード

- ・ 節電モード設定中は、節電モードランプが点灯します。
- ・ 節電モード設定中、便座温度は35℃になります。着座すると設定温度になりますが、立ち上がると再び35℃に戻ります。
- ・ 温水温度は、設定温度のままです。

途中で解除したい時



を押して、表示ランプを消灯させます。

上手に節電

便ふたを閉じる

使用しないときは便ふたを閉じてください。
無駄な放熱を防ぎます。



夏は温度設定を低めに

夏は温水や便座温度を低めに設定しましょう。

節電機能を使用する

節電モードが設定されている間は便座の温度を下げるすることができます。



このような時は・・・

- ・ 節電モード中に便座に座ったら・・・
設定中の便座温度は35℃ですが、着座すると数分で設定温度になります。
立ち上がると再び35℃に戻ります。

脱臭機能

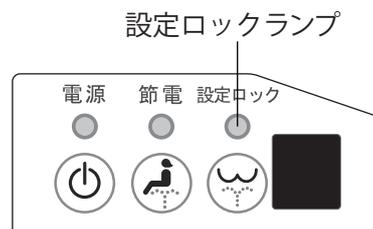
- ・便座に座ると自動的に脱臭を開始します。(脱臭ファンの動作音がします。)
- ・脱臭運転は便座から立ち上がった後、約1分間運転し、自動的に止まります。
- ・便座に座り続けた場合は、約30分後に脱臭は止まります。

ロック設定機能 (管理者モード)

管理者モードの設定

便座温度、温水温度、節電機能を管理者のみが操作する機能です。

1.  と  を同時に5秒間押すと、管理者モードとなります。
 - ・管理者モードでは便座温度、温水温度、節電機能は操作できません。
 - ・設定中は設定ロックランプが点灯します。
2. 管理者モード中に  と  を同時に5秒間押すと、通常モードとなります。



凍結防止について

凍結の恐れがある場合

本製品は寒冷地仕様ではありません。寒冷地でトイレの室温が0℃以下になるおそれのある場合や、長期間使用しない場合は、安全のため電源プラグを抜いて便座本体内部の水抜きをしてください。

- 他の器具でトイレ内を暖房してください。
※暖房器具の注意書きに従って使用してください。
暖房器具の熱源を近付けすぎると便座本体が変形するおそれがありますので、注意してください。
- 配管部は市販の凍結防止テープヒーターを取り付けてください。
- トイレ内を暖房できない場合は、下記の手順で水抜きをしてください。

水抜きの方法

1 電源プラグを抜く

2 止水栓を閉める

マイナスドライバーで右方向に回します。

3 ロータンクの洗浄ハンドルを操作し、給水しないことを確認する

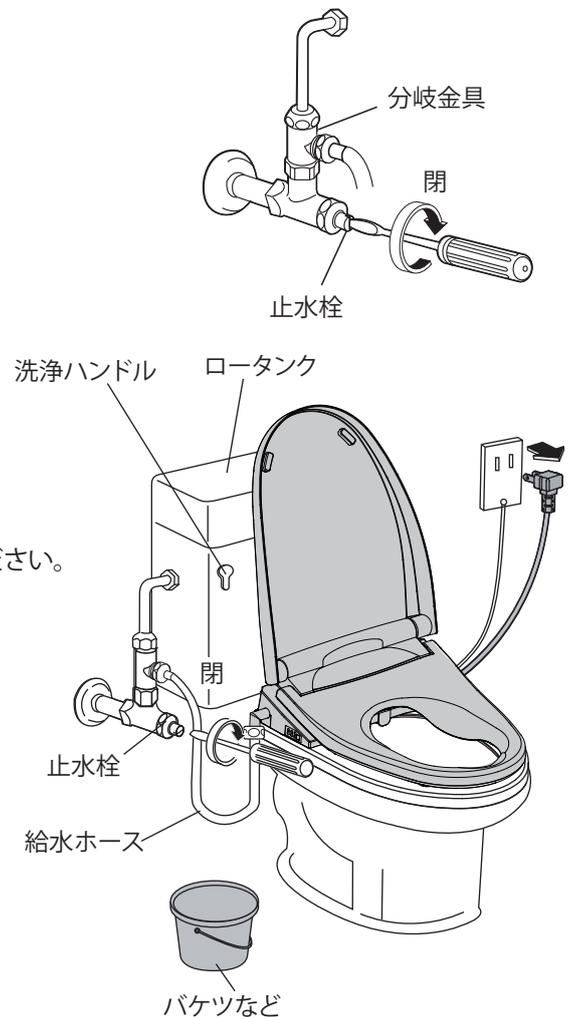
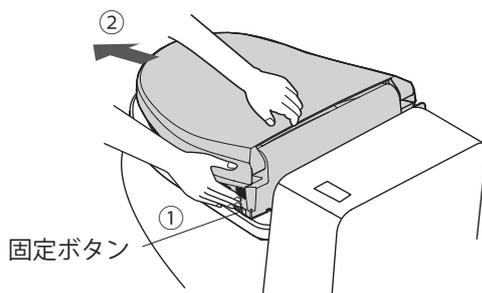
4 給水ホース内部の水抜きをする

- ① 給水ホースを分岐金具から取り外し、水抜きをします。
- ② 水抜きした後、給水ホースを分岐金具に取り付けます。
※バケツなどの容器を用意し、給水ホース内の水を受けてください。

5 便座本体の取り外し

取り外しかた

- ① 便座本体右下奥にある固定ボタンを押します。
- ② 便座本体を手前に引き、便座本体を取り外します。



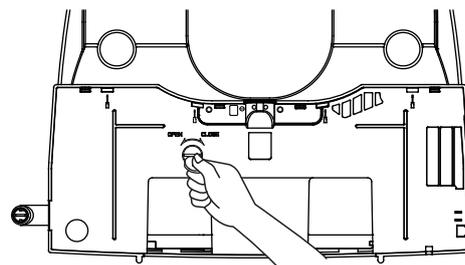
⚠ 注意

- 固定ボタンを押したまま手前に引かないと便座本体が破損します。

凍結防止について

⑥ 水抜栓から便座本体内部(温水タンク)の水抜きをする

便座底部の水抜栓をコインなどを使用して左方向に90°回して引き出してください。



⑦ 水抜栓を閉め便座を取り付ける

- ① 水抜き後、水抜栓を押し込んで右方向に90°回して締め付けてください。
- ② 便座本体を便器に取り付けてください。

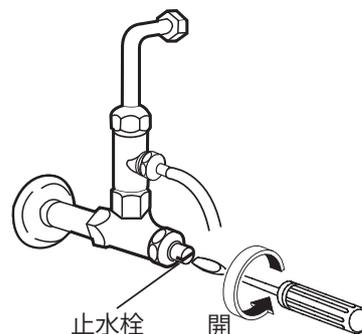
万が一凍結してしまったときは

温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水管接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。
※給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。給水ホースが破損するおそれがあります。

水抜き後の再通水の方法

① 止水栓を開ける

マイナスドライバーで左方向に回します。
水抜栓や給水ホースの接続部から水が漏れていないか確認してください。

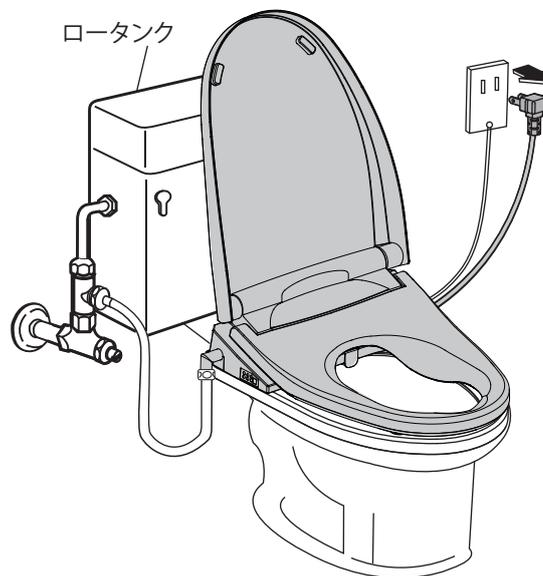


② 電源プラグをコンセントに差し込む

- ① 操作パネルの電源ランプの点灯を確認してください。
※電源プラグをコンセントに差し込んだ直後は、約10秒間初期設定を行いますのでボタン操作は受け付けません。(9 ページ)
- ② 温水温度、便座温度の設定をしてください。

③ おしりムーブ または ビデムーブ を押す

自動的に給水されます。
給水中にブザー音が「ピッピッ」と鳴り、満水になると「ピー」と鳴り給水が止まります。



知っておいていただきたいこと

着座センサー

お子様が使用するときには周りの方が注意してください。
便器内にはまったり、指を挟んでけがをするおそれがあります。

- 本製品は着座センサーがついています。
便座に座らないとおしり洗浄やビデ洗浄はできません。
- 洗浄機能使用中に立ち上がったたり体を浮かせたときは、着座センサーが「切」になり、洗浄機能が停止します。
※便座カバーを取り付けて使用すると、着座センサーが効かなくなる場合がありますので、使用しないでください。
※便座本体のお手入れ時に着座を検知する場合があります。お手入れ前は必ず電源プラグをコンセントから外して行ってください。

切り忘れ防止タイマー

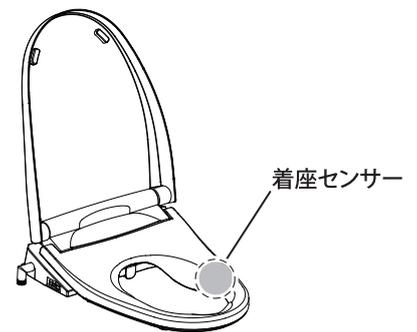
- 各洗浄機能が作動してから約2分で自動的に洗浄機能が停止します。

洗浄水の温度

- 季節や洗浄水の水勢にもよりますが、洗浄し続けると約40秒後に洗浄水の温度がぬるくなります。

水温が低いとき

- 洗浄中に温水温度が低くなる場合があります。約5分間洗浄をとめて、温水温度が上昇してから使用してください。



便座の温度

- 周辺温度が20℃に満たない場合は、所定の温度に達しないことがあります。

低温やけど防止

- 長時間便座に座り続けると低温やけどになる場合があります。
- 便座に座ってから、約1時間後に自動的に便座ヒーターが切れます。
(電源ランプと設定ロックランプが点滅し、リモコンと本体ボタンを押しても動作しません。)
立ち上がり、再度着座すると自動的に最後に設定した便座温度に戻ります。

使用中の音

- 使用中に「シュー」という音がすることがありますが、これは便座本体内の温水タンクに水が供給される際の音ですので、異常ではありません。

マイコンの初期設定

- 停電から復帰したときや、電源プラグをコンセントに差し込んだ直後は、約10秒間初期設定を行いますので、操作を受け付けません。

知っておいていただきたいこと

水道圧が低いとき

- 水道圧が0.069MPa (0.7kgf/cm²) より低いと、水勢を「強」にしても十分な水勢が得られないことがあります。
- 十分な水勢が得られていても、他の蛇口で水道を使うことで、水道圧が0.069MPa (0.7kgf/cm²) より低くなると、十分な水勢が得られないことがあります。

電源オン/オフ

- [電源]を2秒間押すと電源ランプが消灯し、電源が切れますが、この状態で再び2秒間押すと電源ランプが点灯し電源が入ります。
- 長期間使用しない時など電源をOFFにできます。



初期設定の記憶

- 停電が1秒以上続いた時や電源プラグをコンセントから抜いた時でも温水温度(便座温度)設定は記憶されておりま。

リモコン操作音を消す

- 本体操作部の  と  を5秒以上押すと操作音が消えます。
- 上記設定中に再び  と  を5秒以上押すと操作音が鳴ります。

リモコンチャンネル設定

- 本製品を複数台、隣接して設置する場合、混信防止の為にリモコンの通信チャンネルを変更する必要があります。工場出荷時に設定されているチャンネルを含め、5種の設定が可能です。
 - リモコンの水勢調整ボタン  と  を5秒以上同時に押します。
- 次に、水勢調整ボタン  を押し任意のチャンネルを選び、止  を押すと設定が完了します。

チャンネル	水勢ランプ
1(工場出荷時)	
2	
3	
4	
5	

通信チャンネルを設定する場合は、設定する製品のみ電源を入れて行って下さい。隣り合う製品が同一の通信チャンネルとなり、誤動作の原因となります。

お手入れ

⚠ 警 告

必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お手入れしてください。



⚠ 警 告

お手入れが終了したら、電源プラグは、コンセントの奥までしっかり差込んでください。

⚠ 注 意

汚れは湿らせたやわらかい布、またはうすめた台所用中性洗剤を含ませた布でふき取ってください。

- ・シンナー・ベンジン・トイレ用洗剤・住宅用洗剤・薬品で拭いたり、殺虫剤・芳香剤・消臭剤をかけないでください。便座などがひび割れし、けがの原因になります。
- ・クレンザーや磨き粉が入っている洗剤やナイロンたわしは使用しないでください。変色・変形・傷の原因になります。
- ・便器を洗うときのトイレ用洗剤は、便座本体に付かないようにしてください。また便器についたトイレ用洗剤は確実にふき取ってください。
- ・酸性洗剤やアルカリ性洗剤は使用しないでください。気化ガスが便座本体内部に入り、腐食・故障の原因になります。
- ・乾いた布やトイレットペーパーなどでこすらないでください。傷の原因になります。

⚠ 注 意

便器内を洗剤でお手入れするとき

- ・便器内の清掃にトイレ用洗剤および消毒剤などを使用するときは、早め(3分以内)に洗い流した後、便座・便ふたは開けたままにしてください。また便器についた洗剤は確実に拭き取ってください。(便器用洗剤などの気化ガスが便座本体内部に入り、故障の原因になります。)

便座本体

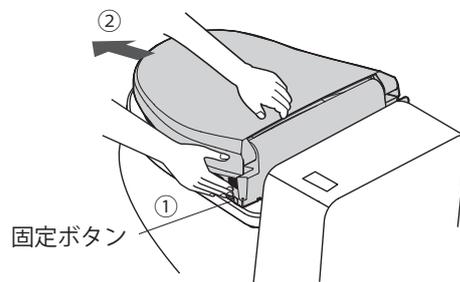
本体を取りはずして、裏側や便器の上面をお手入れできます。

取り外しかた

便座本体右下奥にある固定ボタンを押したまま便座本体を手前に引き、便座本体を取りはずす。

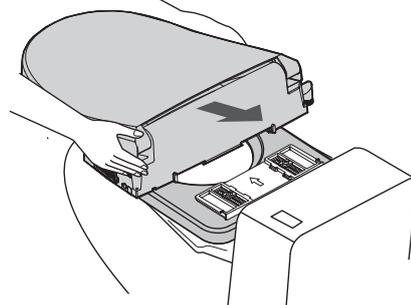
⚠ 注意

- ・固定ボタンを押したまま手前に引かないと便座本体が破損します。



取り付けかた

- ① 便座本体のくぼみとベースプレートの位置を合わせ、ベースプレートの奥まで確実に押し込む。
- ② 便座本体を取り付け後、本体を軽く左右にふって固定されていることを確認してください。



お手入れ

補高便座

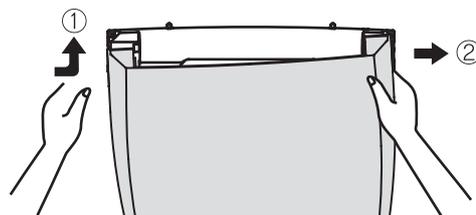
- 1 柔らかい布を水で濡らしてよく絞り、傷つけないように水ぶきしてください。
- 2 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませて水ぶきしてください。

便ふた

便ふたを取り外してお手入れすることができます。
便ふたを閉じた状態で取り外し、取り付けを行ってください。

1 便ふたを取り外す

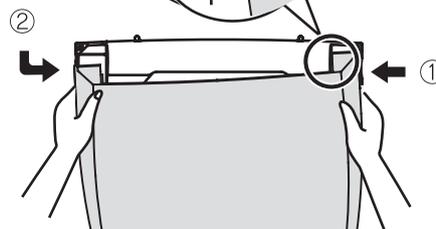
- ① 便ふたの左側を広げながら、ヒンジ部を軸から外し、持ち上げてください。
- ② 右軸を外してください。
※指をはさまないように注意してください。



2 お手入れをする

3 便ふたを取り付ける

- ① 外した状態と同じ角度で、右軸を先に取り付けてください。
- ② 便ふたの左側を広げながら左軸を取り付けてください。



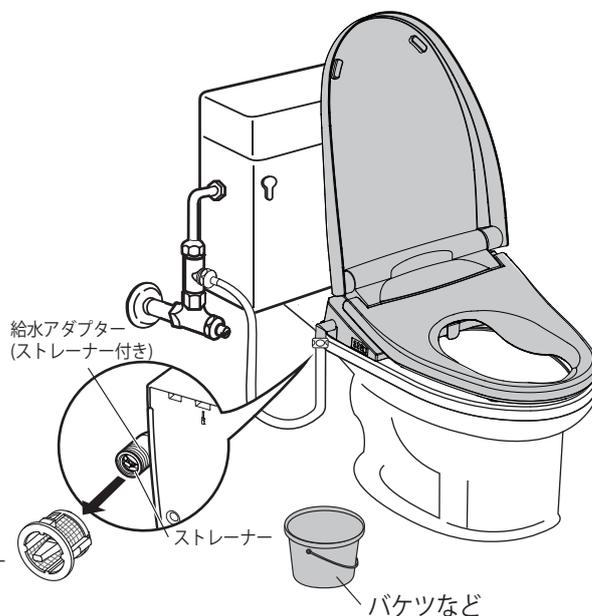
ストレーナー

ストレーナーが詰まると洗浄水の水勢が弱くなりますので、お手入れをしてください。

1 止水栓を閉める

2 ストレーナーを掃除する

- (給水口の下にバケツなどを置いてください。)
- ① 給水ホースを給水口より外してください。
 - ② 給水口内にあるストレーナーをラジオペンチなどを使って取り出してください。
 - ③ 水洗いしながら歯ブラシなどを使って掃除してください。
 - ④ ストレーナーの取付方向を間違えないように奥まで差し込んでください。
 - ⑤ 給水ホースを給水口に取り付けてください。



3 止水栓を開ける

マイナスドライバーで左方向に回します。
※給水ホースの接続部から水が漏れていないか確認してください。

便座本体内部の水抜き

便座本体内部の水抜きをして沈殿物を排出してください。
ノズルの穴が詰まる原因となります。(3ヶ月に1回程度)
水抜きの方法 ([17~18](#) ページ)

お手入れ

ノズル(おしり、ビデ)

ノズルが汚れると、洗浄水が横に飛び散ったり、ノズルの動きが悪くなりますので、必ずお手入れをしてください。

ノズルのお手入れ

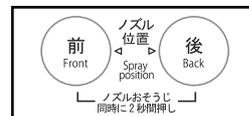
・ノズルが汚れると、洗浄水が横に飛び散ったりしますので、必ずお手入れをしてください。

1. **前** と **後** を同時に2秒間押してノズルを出す。

・着座しないでリモコンのボタンを押すとブザー音が「ピッ」と鳴り、ノズルが前進します。

※着座を感知すると(便座本体の節電ランプが5秒間点滅したあと消灯します。)ノズルはでません。

その場合は、便座本体から一度離れ、再度ボタンを押してノズルを出してください。

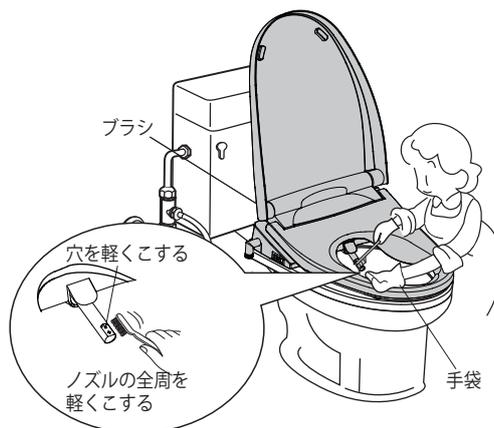


2. **汚れを落とす。**

・手袋をして作業をしてください。

ブラシでノズル本体・ノズル先端の全周、およびノズル先端の穴を軽くこすって汚れを落とします。

※ノズルは約3分で戻ります。(戻るとき、ブザー音が「ピー」と鳴ります。)洗浄を続けたいときは再び「ノズルおそうじ」ボタン押してください。



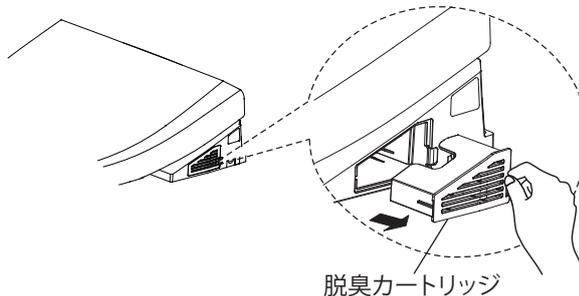
3. **止** ボタンでノズルを戻す。

・洗浄が終わったら「止」ボタンを押してノズルを戻してください。

・ノズルが戻ってから仕上げにノズルを自動洗浄します。

脱臭カートリッジ

1 脱臭カートリッジを取り出す

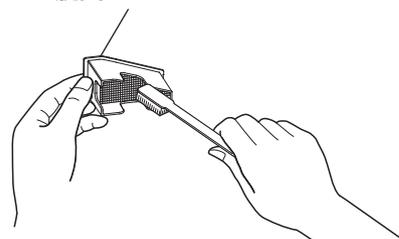


2 脱臭カートリッジを掃除する

脱臭フィルターの網部のほこりを歯ブラシなどで取り除いてください。

(1ヶ月に1回程度)

※脱臭フィルターにほこりがつきますと、脱臭効果が低下します。



3 脱臭カートリッジを差し込む

お手入れ

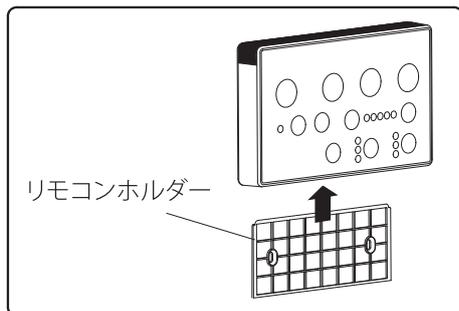
リモコンの電池交換

電池交換ランプが点滅したら早めに電池交換をしてください。

リモコンの設置場所によって電池交換ランプが点滅する前に使用できなくなる場合があります。

通常は消灯していますが、点灯状態になると使用できません。

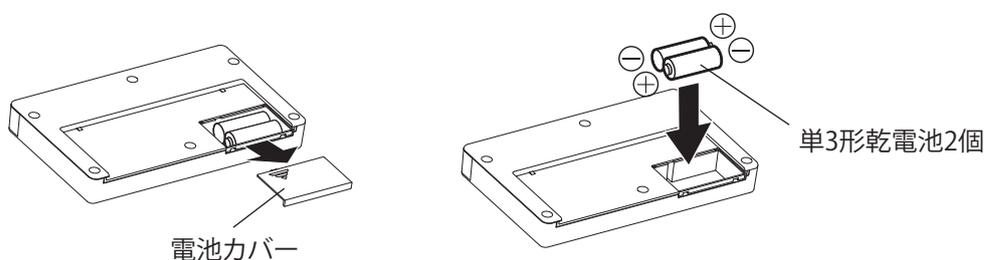
① リモコンホルダーから取り外す。



② 電池カバーを外し、新しい乾電池に取り替える

・付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短い場合があります。

※乾電池は消耗品です。



③ 電池カバーを元の状態にはめ、リモコンを取り付ける。

⚠ 注 意

- ・電池のプラスとマイナスの向きをリモコンの表示に従って正しく入れてください。
- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
- ・充電タイプ乾電池は使用できなかったり、電池の使用期間が短くなります。

仕 様

製 品		温水洗浄便座
定 格	電 源	交流100V 50~60Hz(共用)
	消費電力	1070W(本体1010W 便座60W)
製 品 寸 法		幅440×奥行549×高さ146(mm)
給 水 方 法		水道直結式
製 品 質 量		約4.5kg
電 源 コ ー ド		長さ 約1.2m
使用水圧範囲		0.069MPa(流動時)~0.735MPa(静止時)
便ふた		有
温水洗浄	おしり洗浄	最大 600mL/分 1穴
	ビデ洗浄	最大 600mL/分 5穴
	熱交換方式	貯湯式
	水勢調整	5段階
	ノズル位置調整	5段階
	温水温度	切・約35℃/38℃/40℃ 3段階
	安全装置	水位センサー、温度過昇防止器、温度ヒューズ
脱臭装置	脱臭方式	触媒脱臭
	運転制御	マイコン制御(着座センサー連動)
暖房便座	表面温度	切・約35℃/37℃/39℃ 3段階
	安全装置	温度ヒューズ
その他の安全装置		漏電遮断器(内蔵)、着座センサー(内蔵)

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

製 品		補高便座
寸 法		全長520mm×全幅352mm×全高30mm
商品質量		1.1kg
材 料		ポリプロピレン
カ ラ ー		ホワイト

故障かな?と思ったら

故障かな?と思われることがありましたら、修理を依頼される前に次のことを調べてください。

症 状	確認するところ	処 置	参 照 ページ
電源ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 [電源ボタン]を2秒間押し電源をオフしていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに奥まで差し込む。 [電源ボタン]を2秒間押し電源をオンにする。 	9 20
洗浄水が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 水道が断水していませんか。 止水栓が閉まっていますか。 着座センサーが正しく動作していますか。 便座に座っていますか。 市販品の便座カバーがついていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 通水されるまで待つ。 止水栓を開く。 着座センサーの上に座る。 座って使用する。 便座カバーを取り外して使用する。 	9、18 19 14、19 9、19
洗浄水が弱い	<ul style="list-style-type: none"> 水圧が普段より低くなっていませんか。 ※0.069MPa(0.7kgf/cm²)以下 止水栓が十分に開いていますか。 給水口のストレーナーが詰まっていますか。 ノズルが詰まっていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の水道の同時使用をなるべくさける。 止水栓を充分に開ける。 ストレーナーを掃除する。 ノズルを掃除する。 	20 9、18 22 23
便座が温かくない、または、冷たい	<ul style="list-style-type: none"> 便座温度表示ランプが「Lo」や「消灯」になっていませんか。 トイレ室内の温度が低くないですか。 	<ul style="list-style-type: none"> [便座温度調節ボタン]を押して「Hi」側に設定する。 周囲温度が20℃に満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。 	13 13、19
洗浄水が温かくない、または、冷たい	<ul style="list-style-type: none"> 温水温度表示ランプが「Lo」や「消灯」になっていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> [温水温度調節ボタン]を押して「Hi」側に設定する。 	13
使用中に温水温度が低くなる	—	<ul style="list-style-type: none"> 温水になるまで洗浄を止めて5分ほどお待ちください。 	19
便座本体がぐらつく	<ul style="list-style-type: none"> ベースプレートを固定しているナットが緩んでいませんか。 便座本体がベースプレートから外れていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ナットを増し締めする。 ベースプレートの奥まで確実に差し込む。 	6 6
便座や便ふたが開いたときに静止しない	<ul style="list-style-type: none"> 市販品の便座カバー・便ふたカバーがついていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 便座カバー・便ふたカバーを取り外して使用する。 	9、19
節電モードランプと設定ロックモードランプが点滅する	<ul style="list-style-type: none"> 市販品の便座カバーがついていませんか。 長時間便座に座り続けていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 便座カバーを取り外して使用する。 便座から立ち上がる。 	9、19 19
節電モードランプランプが点滅する	—	<ul style="list-style-type: none"> お買い求めの取扱店・販売店またはお客様サービスセンターに修理を依頼してください。 	—

上記のことをお調べになり、それでも異常がある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの取扱店・販売店またはお客様サービスセンターに連絡してください。

故障かな?と思ったら

万一、故障かなと思われることがありましたら、修理を依頼される前に次のことを調べてください。

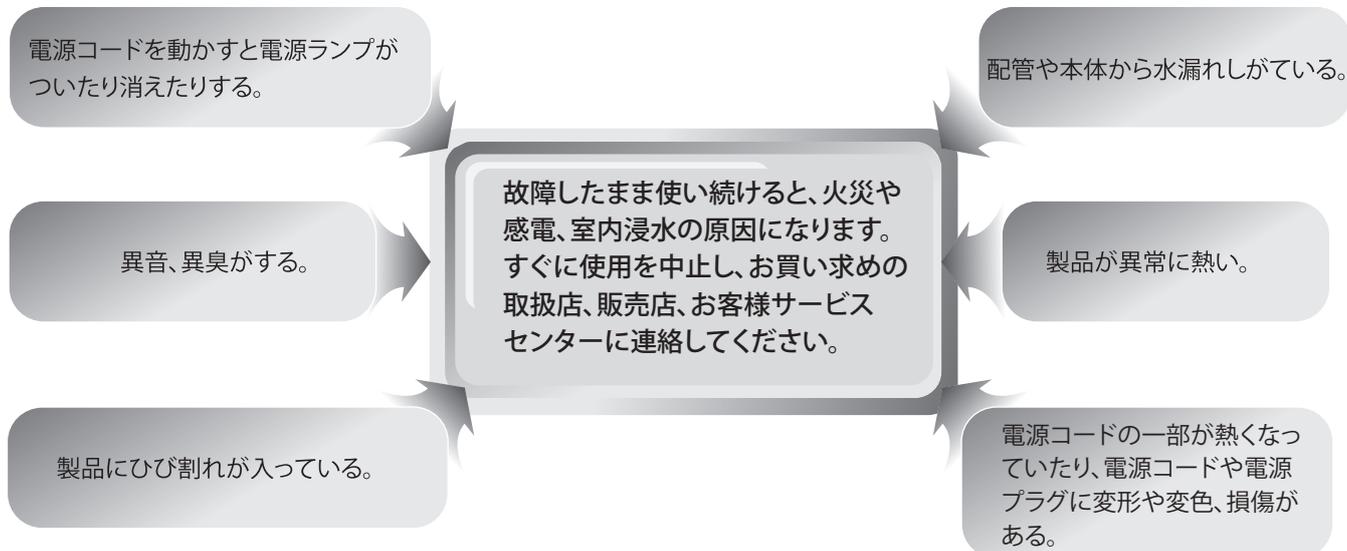
症 状	確認するところ	処 置	参 照 ページ
脱臭効果が感じられない	<ul style="list-style-type: none"> 脱臭フィルターの網部にほこりが付いていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ほこりを取り除く。 	23
水が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> 接続部のナットが緩んでいませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 漏れている箇所のナットを締め直す。 パッキンがきちつとはまっているか確認する。 パッキンが劣化していないか確認する。 水跳ね防止パッキンが便器に張り付いているか確認する。 	9 7 7 6
ノズル付近から水が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> 洗浄前後、ノズル付近から水が落ちますか。 洗浄停止中、ノズル付近から水が落ちますか。 	<ul style="list-style-type: none"> 洗浄前後、ノズル付近から1～2分水が落ちるのは、ノズル内の残水によるもので故障ではありません。 洗浄停止中、ノズル付近から水が落ちるのは、温水タンクの水が沸き上がった時の膨張水によるもので故障ではありません。 	9、11、14 9、11
リモコンを押しても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 「電池交換表示ランプ」が点滅または点灯していませんか。また、どのスイッチを押してもランプが消えたままになっていませんか。 黒を基調としたもの(マット、カーテンなど)がありませんか。 リモコン発信部、受信部が隠れていませんか。 天井や床、壁が黒または濃色ですか。 インバーター方式の照明を使用していませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 電池交換をする。 黒を基調としたものを取りのぞく。 リモコン位置を移動してみる。 	8、24 8 8
2台以上の製品が同時に動作する	<ul style="list-style-type: none"> トイレの壁を越えて隣の信号を受けていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> リモコンのチャンネル設定が必要となります。 	20

上記のことをお調べになり、それでも異常がある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの取扱店、販売店、お客様サービスセンターに連絡してください。

点検のお願い

日常点検

安全に長くご愛用頂くために、日頃から点検を行ってください。
次のようなときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。



重大事故防止のため

温水洗浄便座は、電気製品です。故障したままで使わないでください。

火災や感電、室内浸水の原因になります。異常に気がいたら、電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、お買い求めの取扱店、販売店、お客様サービスセンターに連絡してください。

安全にご使用いただくために

- ① 便座や本体に洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。
- ② 酸性洗剤やアルカリ性洗剤を使用しないでください。気化ガスが便座本体内部に入り、腐食や故障の原因になります。
- ③ 電源プラグやのほこりは取り除いてください。トラッキングによる火災の原因になります。
- ④ 水漏れした状態で使用しないでください。火災や感電、室内浸水の原因になります。